

## 草の根無償「サン・ロレンソ市ラ・グアスコタ村飲料水供給計画」竣工式

2022年12月16日(金)、アウアチャパン県において、「サン・ロレンソ市ラ・グアスコタ村飲料水供給計画」の竣工式を実施しました。同式典には、有吉大使、コラド・サン・ロレンソ市長、デ・ムリージョ中米議会議員、ラミレス・ヌエバ・サン・ロレンソ村落開発協会会長並びに同地区住民が参加し、記念プレート除幕や記念植樹等を行いました。

同地区住民は、長い間安全な水の供給を待ち望んでいましたが、本計画の申請が通るまでの間、高額な飲料水を購入するか、あるいは、生活水や飲料水の確保のため毎日何キロも移動し、水を運ばなければなりません。同地区住民のニーズを満たすため、コラド・サン・ロレンソ市長は、同地区村落開発協会と協力して、875人以上の人々の生活改善のために飲料水供給計画に取り組みました。

在エルサルバドル日本国大使館は、これらの状況およびニーズを分析し、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、131,212.00米ドルを支援することを決定しました。支援内容は150m<sup>3</sup>貯水タンクの建設、給水管及び配水管の設置です。本案件では、市役所から配水管網、外柵、給水ポンプの設置や電気接続工事のための費用として86,708.56米ドルが、また、同地区住民から水量メーターの購入および設置、その他、給水管や配水管網設置のための労務提供を行うなど42,645.40米ドルに相当する協力がおこなわれました。それらを合計した案件の総額は260,565.96米ドルです。

有吉大使は挨拶の中で、本事業を通じてエルサルバドルにおける人間の安全保障の理念を踏まえた開発に日本が貢献できていることは誠に喜ばしく、日本及び日本国民の誇りとするとところであると述べました。また、各世帯及び同地区診療所に安全な水が届くようになったことで、衛生的な生活環境が整ったこと、それを未来の子どもたちにも引き継いでいってほしい旨を伝えました。

### <裨益者からの声>



いろいろな人から本案件は失敗する、無理に決まっていると言われてきましたが、私は必ずできると言い続けてきました。必要なのは、それをやろうとする意志であると思います。日本の支援、土地の供与者や地区住民の協力のおかげで無事に計画完了に漕ぎ着けられました。この設備のおかげで、子どもたちや女性が、私たちが子どものころに毎日行っていた水汲みをする必要はもはやありません。将来のこの地区の人たちのためにも大切に水を使っていきましょう。

コラド・サン・ロレンソ市長

以前までこの市には安定した水の供給がありませんでしたが、日本の協力で175世帯および1診療所に上水道設備が設置され、それが解決されました。日本の援助、土地を供与してくださった方そして同地区住民の皆様のおかげで、上水道設備を設置することができました。この支援に対する感謝の気持ちを忘れず、大切に使いましょう。末永く水が使えるよう、我々が心掛けていかなければなりません。

デ・ムリージョ中米議会議員





今日は私たちの夢がかなった歴史に残る日となりました。それ以前は、このような案件をかなえると言いながらも、実施に至ることができませんでした。しかし、日本の支援、土地を供与してくれた方やその他いろいろな方々の支援があり、案件を完了することができました。案件に対し反対意見もありましたが、最終的には皆様の協力でそれを乗り切れました。ありがとうございました。

ラミレス村落開発協会会長

今回上水道設備が整備されたこの場所の裏に、2017年に草の根案件で建設いただいた診療所があります。このたび上水道設備の支援をいただいたことで、診療所でも常に水が出るようになり、これからは、より衛生的に診療所を使用できるようになります。ありがとうございました。

セペダ保健省診療所担当者兼村落開発協会会計担当者

